

読書の小径

Vol.114

土岐市図書館

☎1253

新刊案内



「へんしんおんせん」
あきやまただし



「絵本 地獄」
千葉県安房郡
三芳村延命寺蔵

鍛える聖地	加門七海
未完のファシズム	片山杜秀
ケータイ化する日本語	佐藤健二
麻酔をめぐるミステリー	廣田弘毅
獣医からもらった薬がわかる本	浅野隆司監修
男と女の居酒屋作法	太田和彦
ご近所美術館	森福都
とにかく散歩いたしましょう	小川洋子



「グレン・グールド」

今年には20世紀最高のピアニストの1人といわれるグレン・グールドの生誕80年かつ没後30年の年です。グールドや音楽に関する図書、CDを紹介します。

青柳いづみ『グレン・グールドー未だのピアニスト』。20世紀を駆け抜けた衝撃の演奏家の残したさまざまな謎をピアニストならではの視点でたどり、ライブ演奏の未知の美しさをも手掛かりに、常に新鮮なその魅惑と可能性を浮き彫りにします。

井阪紘『巨人たちの録音現場ーカラヤン、グールドとレコード・プロデューサーー』。カラヤン、チェリビダッケという録音に対して対称的な姿勢を示した指揮者2人とグールド、そして彼らの録音に関わったレコーディング・プロデューサーの物語です。レコード制作の表も裏も知り尽くしたプロデューサーである著者が、レコード芸術の創造の場で繰り広げられる情熱と葛藤のドラマを描きます。今年5月に98歳で亡くなった音楽評論家、吉田秀和は日本でグールドを最初に評価したことで知られています。吉田秀和『CD版 永遠の故郷』は、自伝的エッセイ「永遠の故郷」で取り上げた97曲を、著者自身の選んだ演奏でCD5枚に収録したものです。入手困難な廃盤から新しい演奏までを収録し、音楽とともにその詩世界を味わうため、著者による訳で紹介。また、演奏者の魅力を語る書き下ろしエッセイ1冊が付いています。

11月の休館日

5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)

開館時間

火～金曜日 10:00～19:00
土・日曜日、祝日 10:00～17:00
図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

平成25年3月10日(日)午後1時30分より文化プラザ視聴覚室で「読み聞かせフェスティバル」を開催します。図書館などで活動している読み聞かせボランティアの日頃の成果を発表する場です。読み聞かせのほか、ペープサート(紙人形劇)、パネルシアター、紙芝居などであなたも出演してみませんか。詳しくは図書館まで問い合わせください。